

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

病院長名	錦見 尚道
	453-8511
所在地	名古屋市中村区道下町3丁目3番地
交通案内	地下鉄東山線「中村日赤」駅下車 市バス・名鉄バス「中村保健センター南」下車

□ 病院の特徴

当院は名古屋市北西部に位置し、一日平均外来患者数約 1,400 名、病床数 852 床、職員数 1,500 名と、この地域の基幹病院の一つです。救命救急センター、小児医療センター、総合周産期母子医療センター、造血細胞移植センター、緩和ケアセンター、化学療法センターを運営するとともに、神経疾患、循環器疾患、消化器疾患、呼吸器疾患などの診療でも専門科の壁を越えた医療を実践するシステムが整備されており、活力にあふれています。どの領域においても潤沢な症例数と多数の剖検症例を有しており、急性疾患から慢性疾患まで稀少疾患を含む豊富でバラエティーに富んだ症例を経験することが可能な病院です。専攻医が思い切り腕を振るうことができるアクティブな研修環境は当院の伝統です。

□ 研修プログラムの特徴

救急科専門研修プログラム

当院では、大都市の総合病院における救急医療・クリティカルケア・集中治療を経験いただけます。また、名古屋医療圏のメディカルコントロール活動にも参加いただけます。専攻医のみなさんの希望により、外科・脳外科・整形外科・消化器内科・循環器内科の診療にも積極的に参加いただき、検査・手術手技の修得ができる時期を設けることが可能です。日本赤十字社の使命として災害医療に関わる研修に参加いただく機会を準備しています。藤田医科大学病院では、大学病院の救急医療・クリティカルケアを経験いただけます。海南病院では地域での救急医療の経験いただき、ドクターカーで指導医とともに救急現場に出動するプレホスピタルの現場を体験いただけます。前橋赤十字病院では愛知県とは異なるエリアのMCを経験いただき、ドクターヘリに指導医とともに同乗していただく機会として準備しました。医師としてのコンピテンスの幅を広げるために、最先端の医学・医療を理解すること及び科学的思考法を体得することを重視しており、具体的には、専門研修の期間中に臨床医学あるいは基礎医学研究に直接・間接に触れる機会を持つことができるように藤田医科大学病院、名古屋大学医学部救急・集中治療医学講座での研修も可能です。

研修期間は3年で、ERでの救急診療（クリティカルケアを含む）、集中治療部門、病院前診療（ドクターカー・ドクターヘリ・メディカルコントロール）を中心に、地域での救急医療を3か月間とし、他領域の専門研修（外科・脳外科・整形外科・消化器内科・循環器内科）の希望があれば6～9か月間携わっていただきます。



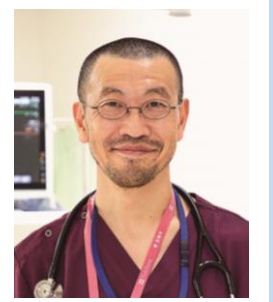
□ 主な連携施設

連携施設 藤田医科大学病院、
海南病院
前橋赤十字病院
関連施設 名古屋大学医学部附属病院

□ メッセージ

プログラム責任者（集中治療部長兼救急部長 都築 通孝）

当院の救急部・集中治療部における救急科専門医の役割は臨床面においてERからICUでの集中治療を提供すること、社会面において災害医療に関わるシステムを構築し実践することです。もちろん、救急隊との連携・メディカルコントロールやERでの診療をこなせることも重要なポイントですが、院内において他科との連携は重症患者がICUに入室した場合、主科とともに全力で診られることを目標と考えています。24時間365日対応するERやICUではエースにボールを集めるというよりはスタッフが入れ替わったとしても診療のクオリティが変わらないトレーニングとチームビルディングが大切と考えています。その一方で長所を伸ばし、チームに生かせるような体制作りも大切で必要のことと思っています。当院は市内でも基幹病院としての大きな役割を担っており、多くの重症患者を受け入れております。そのような環境の中でどれだけ入院した方に貢献できるのか、日本赤十字社の災害医療に賛同し貢献できるのか、ご興味のある先生方、見学にいらして頂きますと幸いです。一緒に働ける日が来ますことを心待ちにしています。



□ 募集要項

・採用予定人数	3人
・給与/月額	3年次：444,245円
・当直回数/月	
・当直料/回	勤務体制に応じて支給
・その他	
・応募連絡先	担当者 教育研修管理課 電話番号 052-481-5111（内線 54145） Eメール kensyu-jimukyoku@nagoya-1st.jrc.or.jp